

平成 26 年度第 2 回 静岡市立清水病院経営懇話会会議録

1 日 時 平成 26 年 11 月 28 日（金）13：30～15：30

2 場 所 静岡市立清水病院 新館 3 階 会議室

3 出席者【委 員】6 名

藤井浩治病院長、望月泰事務局長、東野定律委員、山田博久委員、
澤田幸子委員、武内直昭委員

【事務局】8 名

看護科長 2 名、病院施設課長、医事課長、病院総務課職員 4 名
（欠席）看護部長、病院総務課長

4 開 会

司 会 定刻になりましたので、ただいまより、清水病院経営懇話会を開会いたします。
皆様には、たいへんお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

清水病院経営懇話会は平成 21 年 3 月に策定された静岡市病院経営計画に基づき設置された組織で、平成 22 年 11 月から一期 2 年として開催してまいりました。本日お集まりの委員の皆様には平成 26 年 11 月から第三期委員として 2 年間お願いするもので、本日は第三期清水病院経営懇話会の第一回目となります。

次第には“平成 26 年度第 2 回”とありますが、これは皆様の前の第二期委員の皆様により平成 26 年 10 月に今年度第 1 回の懇話会を開催したため、本日は平成 26 年度第 2 回目の開催という意味でございます。

まずは、最初にお諮りしますが、静岡市では附属機関等の会議を原則公開することとなっておりますので、当懇話会も傍聴希望者がいる場合は、公開することとしてよいでしょうか。

全 員 （異議なし）

司 会 ありがとうございます。

5 委員委嘱

司 会 それでは、病院長と事務局長は充て職ですので、それ以外の委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきます。本来は静岡市長が直接委嘱すべきところではございますが、本日は都合がつかないため院長よりお渡しいたします、ご了承ください。

（順次委嘱状交付）

6 病院長挨拶

司 会 続いて、清水病院長より、ご挨拶申し上げます。

病院長 本日は、第三期の新しい委員の皆様によるはじめての懇話会となります。委員の皆様にはお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。これより2年間どうぞよろしく願いいたします。

この懇話会は、病院の機能と役割を今後とも継続的・安定的に担っていくため、平成21年3月に「静岡市病院経営計画」を策定し、その計画の取組状況を点検・評価いただくために設置したものです。後ほど説明があると思いますが、現在の「経営計画」は平成21年度から平成26年度までの6年間が計画期間となっており、今年度が最終年となっています。現在、平成27年度以降の新しい経営計画案を市の関係部署と調整を図りながら作成中でございます。地域医療の現状や医療政策の方向性等をふまえ、地域ニーズに即した計画となるよう努めてまいりますので、委員の皆様からもご意見をいただければ幸いです。

本日は、委員の委嘱と、委員の皆様の顔合わせ的な会議ではございますが、委員の皆様におかれましては、今後2年間ぜひとも活発なご審議を賜り、今後の病院運営の参考とさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

7 自己紹介

司 会 続いて、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。
(順次 委員自己紹介)

司 会 続いて、本日出席の病院職員の紹介をさせていただきます。
(順次、職員自己紹介)

8 院内視察

司 会 清水病院が初めての委員様もいらっしゃいますので、簡単に院内視察を行いたいと思いますので、病院施設課長についてお進みください。
(本館2階外来→研修棟→本館地下リニアック(放射線治療器械)
→本館7階感染対策室→入院病棟→新館4階血液浄化センター(透析))

司 会 皆様、お疲れさまでした。
それでは、本日の配布資料の確認をいたします。
(資料確認)

司 会 これより、会の進行は会長をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

9 議 題

会 長 それでは、これからの議事は私が進めさせていただきます。よろしく願いいたします。

議題（１）「開催スケジュールについて」事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料１、２により説明】約５分

会 長 ただいまの事務局の説明について、ご質問はありますか。
（特になし）

会 長 特にないようですので、次に進めます。
議題（２）「清水病院の概要及び現経営計画について」事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料３～５により説明】約２５分

会 長 ただいまの事務局の説明について、ご質問はありますか。
（特になし）

会 長 特にないようですので、次に進めます。
議題（３）「清水病院の新経営計画について」事務局から説明をお願いします。

事務局長 【資料６により説明】約１０分

当院の現状として、医師は１１月末現在で前年度と比べ５名減っており、看護師も不足しています。以前、多くの病院が急性期の看護体制７対１に移行しましたが、国は見直しをする方向にあります。２０２５年には６５歳以上が人口の３０％以上を占め超高齢社会が到来します。清水区は現在の高齢化率が２６．８％ですのもっと早い段階で３０％を超え、２０２５年には人口が３万人減少し２１．５万人になると推測されます。

当院の１０年間の統計をみると、実患者数は７千人前後で変わっていませんが、延患者数は減少しています。これは国の政策による急性期病院の在院日数短縮（当院は約１４日）によるものです。急性期病院ばかりでは患者さんの受け皿が不足するため、国は７対１の病院を減らし、１０対１や回復期の病院を増やして在宅に繋げていきたいと考えています。

そこで、当院は超高齢社会に向けた医療の提供を中心に考えていきます。まず、集中治療室を整備し高度急性期病院としての機能を維持しつつ、当院の特色である回復期病棟を持っていることを活かし、さらに地域包括病棟を設置し、在宅復帰支援をしていきたいと考えています。そのほか、これまでどおり地域医療支援病院として開業医の後方支援をし、救急体制については内科医の減少により当番回数を増やすことは困難ですが、病病連携を進めて患者さんの受入をお願いしていくことが必要だと思います。災害拠点病院としては、DMATチームを作りましたがもう１チーム派遣できる体制を作りたいと考えています。

詳細な取組については次回の会議でお示ししますが、医療制度改革の方向性を見据えて、高度急性期から一般急性期、回復期までの機能をもたせ、スタッフの増員や地域包括ケア病棟の設置などにより在宅復帰支援をしていきます。

費用については、医師減少の影響が大きく、今年度は前年度に比べ約 10 億円の収入減が見込まれます。現在市の財政当局と調整を行っています。

澤田委員 集中治療室はいつ完成しますか。

事務局長 年度内に完成し、来年 4 月から稼働予定です。

澤田委員 医師 3 名が来られるということですが、いかがですか。

事務局長 現在大学にお願いしており、人数は不明ですが来ていただくことになっていません。

澤田委員 先程視察で見せていただいた血液浄化（透析）センターは素晴らしい設備が整っていますが、常勤医がいないために稼働していない部分がありますね。常勤医がいた頃は 65 名いた患者さんが今は 25 名程度だとか。同様に、常勤医がこなければ集中治療室が稼働しないのではという心配する声も聞かれます。何とか常勤医を集めないといけませんね。

事務局長 医療スタッフの確保が最重要課題であると認識しています。大学との連携をはじめ、いろいろな手立てを行っていますが、なかなかすぐに集まらないのが現状です。当院医師の 7 割は医局人事です。最近は医局に人がいないので出しようがないようです。

澤田委員 最近の若いお医者さんは医局に入らないようですね。

事務局長 医学部の定員を増やしおり、2～3 年後には後期研修医（医師）として増えてきますので、そうすれば医局も人が出せるようになるのではないかと思います。

澤田委員 見通しは明るいですね。

事務局長 大学に何って顔の見える関係を続けていきます。

澤田委員 未収金のほかにも借金がありますか。

事務局長 未収金は病院の資産です。ほかには、旧清水市時代の赤字補てんされなかった部分の累積欠損金が約 17 億円あります。

澤田委員 クレジットカード払いができるのは便利ですが、その未収金はあるのですか。

事務局長 ございませぬ。

澤田委員 静岡病院ではカード払いができないですね。清水病院ではできるのになぜできないのでしょうか。未収になるから敢えてやらないということなのでしょう。

事務局長 そういうことではないと思います。カード払いは患者様のサービス向上に繋がりますので、当院はいち早く取り入れました。

澤田委員 あとは常勤医が早く集まればいいなと思います。

会 長 議題（4）意見交換に移ります。

東野委員 30 年度までに 7 対 1 を導入するのですか。

事務局長 当院の場合、7対1を導入するには80～90人の看護師が必要です。これから集中治療室もできますので、難しい状況です。

東野委員 これから7対1の急性期病院は益々しぼられます、移行は難しいですね。

事務局長 一日当たり300人程度の入院患者なら少し看護師を確保して7対1へ移行する可能性もあり得ますが、500床の規模を維持しつつ超高齢社会に対応した医療を提供することで地域医療を守るスタンスに変えていくべきだと考えます。当院は急性期だけの病院としては成り立たないので、そのあたりは新計画に盛り込んでいきます。

東野委員 あえて10対1のままでいって、回復期や地域包括ケア病棟を充実させていく方がいいのではないかと思います。

事務局長 まさにそのとおりです。

澤田委員 静岡病院も10対1ですか。

事務局長 市内の公的病院のほとんどが7対1ですが、当院と静岡病院は10対1です。ベッドを減らせば7対1体制がとれ、収入も増え看護師も確保できますので、民間病院は一時ベッドを休床して7対1に移行しました。そのため看護師の取り合いがおこりました。公立病院（静岡市立）は職員定数があり増員もできなかったのに対応が遅れて現在に至っています。もしも7対1体制がとれていたならさらに経営改善はできていたかもしれませんが、それがいいのかどうかは分かりません。

澤田委員 公立病院は必ず4月に採用なのですか。

事務局長 主には4月ですが、今は、有資格者は随時行っています。

武内委員 満車で駐車場待ちの確率はどれくらいありますか。

事務局長 ほとんど満車で、曜日によりつながってしまいます。駐車場の待ち時間と診療までの待ち時間があり、患者様にはあわせてお待ちいただくことになってしまいます。

武内委員 駐車場を拡幅する予定とありますが。

事務局長 実は、議会からも指摘されています。拡幅すると台数が減ってしまうので、2階建てや場所を広げることも視野に入れて考えています。また、工事中はどうするのか、費用対効果も踏まえて検討しています。

武内委員 立体駐車場も一案かなと思いましたが、建設中はどうするのかという問題はありますね。

澤田委員 駐車場の警備業者さんは前年度も今年度も感じがよいですね。混む時間帯があるのでしょうか。私は8時台の早い時間帯に来ますが、この時間帯は比較的空いています。

事務局長 ありがとうございます。業者には伝えます。

会 長 議題（5）その他 ですが、何かございますか。
（特になし）

会 長 特にないようですので、以上で議事の進行を終わります。進行を事務局に返し

ます。

10 閉 会

事務局

皆様、長時間にわたりありがとうございました。最後に何点かご連絡をさせていただきます。

次回は来年の2月中旬～3月頃を予定しております。改めて委員の皆様のご都合をお伺いしますのでよろしくお願い致します。

また、本日お持ちいただいた書類はこのあと集めさせていただきます。謝金については、後日登録口座に振り込ませていただきます。

それでは、以上をもちまして、平成26年度第2回清水病院経営懇話会を終了させていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございました。気をつけてお帰りください。

会長署名 _____